

郷土が誇る偉人「田中正造」は、足尾銅山の鉱毒被害というローカルな課題を徹底的に追究することを通して、「真の文明」というグローバルな思想にたどり着いた。本校は、田中正造から学び、ローカルな課題からリージョナルな課題に視野を広げ、「真の文明」=「持続可能な社会」の実現を目指し、解決策を提言・行動できる「グローバルリーダー」の育成を目指している。

地域貢献から世界の社会課題解決を目指す 「田中正造型」グローバルリーダーの育成

田中正造から学ぶ
グローバルリーダーの資質・能力

- ➡
- ①課題を発見し向き合う力、 ②論理的・批判的に思考する力
 - ③協働して課題を解決する力、 ④情報を発信する力
 - ⑤英語で伝える力、 ⑥グローバル社会に貢献する高い志とチャレンジ精神



グローバル探究プログラム

授業のシンカ

キーワード: **シンカ**
→ 深化・進化・真価・Thinker

高3	グローバル発展 ～ キャリアパス探究 ～ (1) 1. 2年次の課題研究を論文にまとめる。 → 国内外の成果発表会やコンクール等で発表 (2) 自らの将来像とそこに至るキャリアパスを探究 → 「私の学び計画書」「私のシンカ宣言(英語)」
高2	グローバル応用+ グローバル情報 ～ 異文化研究 ～ (1) 地域課題研究で設定したテーマについて、世界の国々ではどのようなことが課題になっているかを調査、研究する。 (2) 台湾研究(必修)+ My Another Country Research (グループで1国設定) (3) 台湾フィールドワーク・協働学習 台湾グローバル研修(フィールドワーク)
高1	グローバル基礎+ グローバル情報 ～ 地域課題研究 ～ (1) 「真の文明」(=持続可能な社会)の提言を目指し、6領域の中から、地域の課題を発見・設定し、調査・研究 (高大連携グループ研究)。 (2) ローカル&リージョナルフィールドワーク → 佐野、熊本(水俣)、福島、カナダ(バンクーバー) 海外グローバル研修(カナダ)
中3	グローバルアプローチⅢ ～ 世界の中の日本を知る・課題研究入門 ～ 国内研修(広島、京都、奈良) イングリッシュキャンプ
中2	グローバルアプローチⅡ ～ 地域を支える産業を知る・職業研究 ～
中1	グローバルアプローチⅠ ～ 世界に誇れる郷土の偉人・田中正造を知る ～ 足尾植林体験・田中正造新聞作成

学校設定科目 CTP クリティカル・シンキング プログラム	～ 批判的思考を身に付ける～ ★ 中1～中3: 批判的思考を活用した調査分析能力、コミュニケーション能力を高める。 → 英語のスピーチ、ディベート ☆ 高1: 各教科で批判的思考を活用 → 英語と国・数・理・社のTT、ディベートなど
授業のSGH化 (教科横断型授業)	～ 教科指導にSGHの視点を導入～ → グローバルな社会課題に課題研究を導入 ～ 全教科でアクティブラーニングを導入～
授業評価	・教科横断的・探究的な学びを多面的・総合的に評価するルーブリックの開発。 → 宇都宮大学と連携
SGHクラブ	・国内外のフィールドワーク研究 ・課題研究へのディベート導入

グローバルネットワークの構築

- <高校>**
- ・熊本県立済々黴高等学校(水俣病からの復興)
 → ディスカッション、ディベート、協働フィールドワーク
 - ・六和高級中學、暨南国際大学附属中學等(台湾)
 - ・チリワック・セカンダリースクール、クリスチャンユニティスクール(カナダ)
- <大学>**
- ・東京海洋大学、宇都宮大学、足利工業大学、白鷺大学、東洋大学
 → 留学生とのグループワーク、大学教員とTT、特別講義等
 - ・福島大学「うつくしまふくしま未来支援センター」(原発災害からの復興)
 → 協働フィールドワーク
 - ・プリティッシュコロンビア大学(カナダ)、国立政治大学、暨南国際大学(台湾)
 → 研究発表、協働フィールドワーク等
- <企業・自治体・関係機関等>**
- ・吉澤石灰工業、住友大阪セメント(バイオマス発電)、吉川油脂、第一酒造、早川食品、さのまちづくり株式会社、佐野市、栃木県、佐野市国際交流協会、佐野商工会議所、JA佐野、JETRO栃木、JICA筑波センター、各国大使館、各種NPO等

これまでの取組 (SGHアソシエイト)

- ・各教科でのアクティブラーニングの導入、「海外グローバル研修(カナダ)」での高大連携プログラム、「SGHアソシエイト通信」による広報活動 等